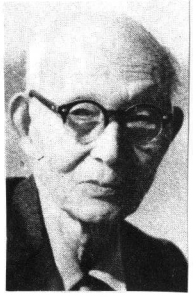


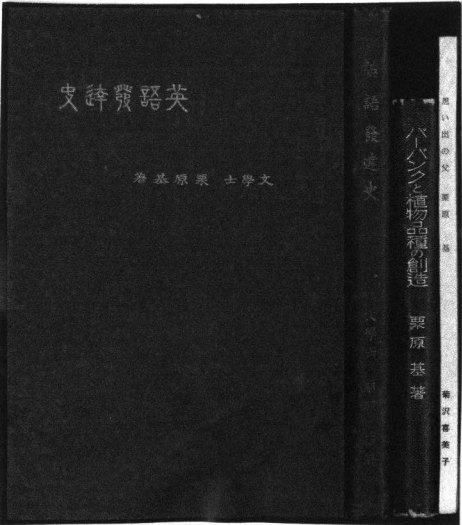
栗原基 もとつら 英語・英文學者。明治九年二月十五日宮城縣仙臺生れ、
 昭和四十一年八月二十六日没（八六―九七）。筆名九里原庄、栗原生。
 中學時代（東華學校）受洗。明治二十一年第一高等學校第一節文科卒、
 同級生内ヶ崎作三郎、吉野作造、小山源浦、島地重慶、小西重直等が
 おりた。二十五年東京帝國大學文科大學英文學科卒業後大學院に進む。
 廣島高等師範學校教授、のち京都YMCA總主事を經て、大正四年第
 三高等學校教授となる。この間同志社女子專門學校でも教へ、昭和十
 八年歸郷。戦後は宮城學院女子大學、尚絅女學院短期大學に教鞭を執
 った。ドイツ文學者栗原佑の父。

著書 『英國文學史』（藤澤周次共編、明治四十年二月九日博文館）『帝
 國百科全書』（、『英語發達史』（明治四十三年十一月二十一日博文
 館）、『植物新種ルーサー・バーズンク』（昭和六年十一月十日恒星
 社）、『ゴッピル先生傳』（昭和十五年十一月二十一日宮城・ゴッピル先
 生記念事業委員会）、『ゴッピンナー植物新種の創生』（昭和十七年
 一月十八日恒星社）等の他、譯書に
 シンクニー ギエリツム著『古米問題』
 （大正四年四月十二日敬喜齋社書店）、
 ラウシエンバツシエ著『耶穌の社會
 訓』（大正七年十一月二十一日日本基
 督教青年同盟本部）、エチ・イ・ノオ



スヂツク著『靈

交録』（四版・大正八年十一月二十日日本基督教
 文協會）、『朝禱』（大正十二年十一月二十一日



白福岡・福音書館（「ラウレン・ブツシエ等」
「新社會建設のため」）
昭和七年四月十七日基督教思想叢書刊行會「基督教思想叢書」
（等。菊沢喜美子著「慰い出の父栗原基」）
昭和四十四年七月十五日私家版）
かあり。